



日本システム開発株式会社

ターンアラウンド 1&2 型伝票印刷簡易版 5 説明書（運用編）

日本システム開発株式会社

<http://www.nsgd.co.jp/nsd/>

改訂履歴

版数	内容	改訂日
1.0	新規作成	2013/8/12



目次

1. データ用フォルダの作成	4
2. 外部データの設定	6
2-1. 読み込むデータ形式の確認	6
2-2. 読込データ構造の設定	6
2-3. CSV 形式のファイル設定	7
2-4. レコード単位形式のファイル設定	13
2-5. 計算と印刷詳細設定	14
2-6. データレイアウトファイルの作成	16
3. 設定ファイルの作成	17
4. 設定ファイルの管理	20
5. 日々の作業	26
5-1. 受信データの印刷	26
5-2. 印刷後のファイル移動	28
5-3. 移動したファイルの印刷	30
6. 登録商標または商標	32

1. データ用フォルダの作成



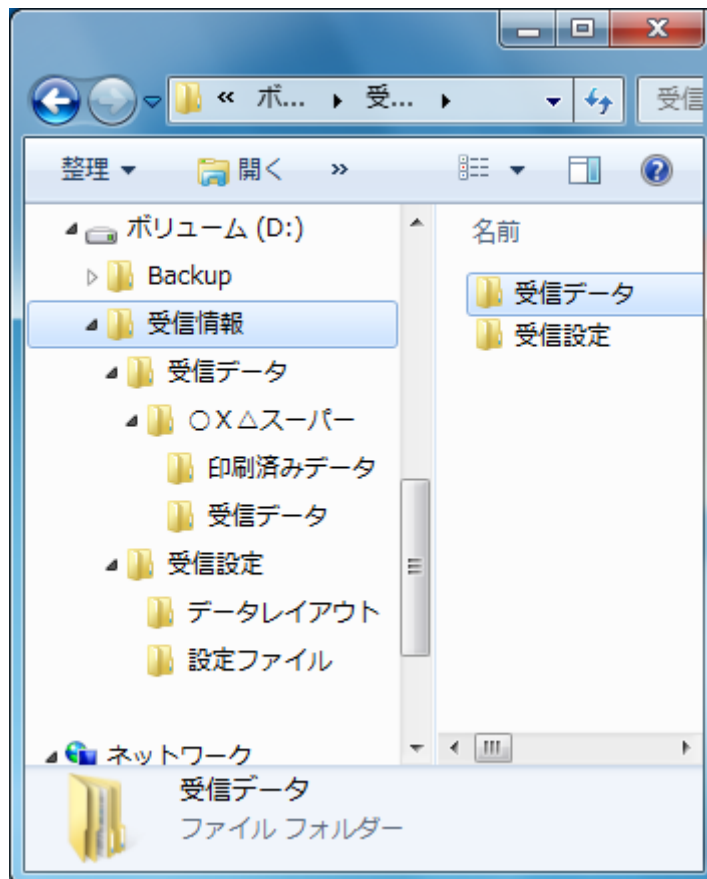
データ用のフォルダを作成

ここで示すフォルダ構成は例として記述しています。

必ずしも一致する必要はありません。

例は、D:ドライブの「受信情報」フォルダ以下の階層フォルダです。

各フォルダは、エクスプローラの<新しいフォルダー>で作成します。



各フォルダの説明。

- [受信情報]
受信データ、受信データ用の設定ファイルなどを階層化フォルダに保存します。
- [受信情報]-[〇×△スーパー]
〇×△スーパーから受信したデータの保存用フォルダです。
- [受信情報]-[〇×△スーパー]-[印刷済みデータ]
〇×△スーパーから受信したデータで伝票を印刷したデータファイルを保存するフォルダです。



- [受信情報]-[○×△スーパー]-[受信データ]
○×△スーパーから受信したデータファイルを保存するフォルダです。
※別システムの通信プログラムなどで受信したデータを保存するフォルダです。
- [受信情報]-[受信設定]
「ターンアラウンド 1&2 型伝票印刷簡易版 5」で作成する設定ファイルを階層化フォルダに保存します。
- [受信情報]-[受信設定]-[データレイアウトファイル]
読込データ構造を示すデータレイアウトファイル(*.DLF)を保存するフォルダです。
例：「○×△スーパー.DLF」ファイルを保存します。
- [受信情報]-[受信設定]-[設定ファイル]
設定ファイルを保存するフォルダです。
例：「○×△スーパー.TDI」ファイルを保存します。

2. 外部データの設定

ここでは「ターンアラウンド 1&2 型伝票印刷簡易版 5」で読み取るデータの設定方法を示します。



2-1. 読み込むデータ形式の確認

2-1-1. データの送信元が発行する資料を確認して設定を行います。

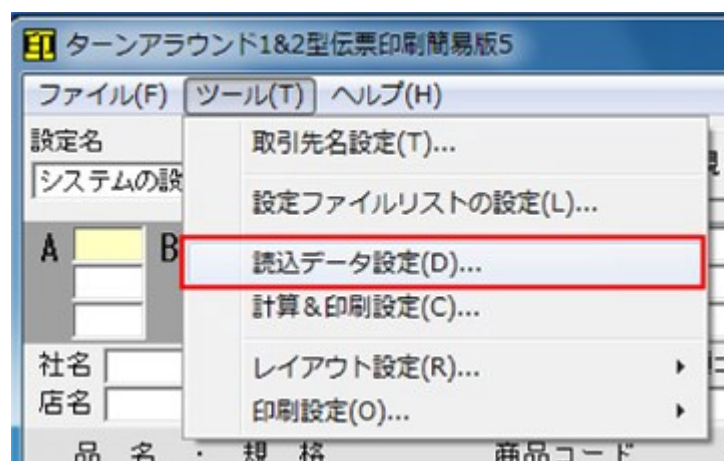
データのファイル形式が CSV(comma-separated values)形式のファイルまたはレコード単位形式のファイルかを確認します。

※データファイルのフォーマットが CSV 形式、レコード単位形式以外の場合は、読込データの設定はできません。

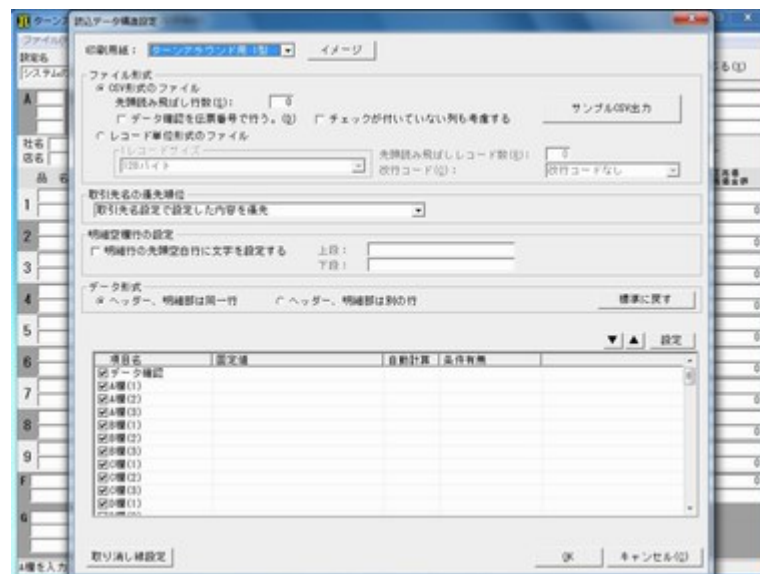


2-2. 読込データ構造の設定

2-2-1. メニュー-[ツール(T)]-[読込データ設定(D)]を選びます。



[読込データ構造設定]を開きます。





[印刷用紙]を指定します。

※印刷用紙は<イメージ>をクリックすることで用紙のイメージを確認することができます。



2 - 3. CSV 形式のファイル設定

2 - 3 - 1. ファイル形式は[CSV 形式のファイル]を選びます。

2 - 3 - 2. 読み込むデータに項目名などが含まれるかの確認。

[先頭読み飛ばし行数(S)]に読み飛ばし行数を入力します。



(ア) 先頭に項目名行がないデータイメージ。

1001, シヤメイ001, タカマツテン, 12345, 5, 10, 13080001
1001, シヤメイ001, タカマツテン, 12345, 5, 10, 13080001
1002, シヤメイ001, サカイテン, 12346, 5, 10, 13080001
1002, シヤメイ001, サカイテン, 12346, 5, 10, 13080001
1002, シヤメイ001, サカイテン, 12346, 5, 10, 13080001
1003, シヤメイ001, マルガメテン, 12347, 5, 10, 13080001
1003, シヤメイ001, マルガメテン, 12347, 5, 10, 13080001

先頭に項目名の行がないデータは[先頭読み飛ばし行数(S)]を 0 にします。

(イ) 先頭に項目名行が 1 行あるデータイメージ。

データ確認, 社名, 店名, 社・店コード, 分類コード
1001, シヤメイ001, タカマツテン, 12345, 5, 10, 13080001
1001, シヤメイ001, タカマツテン, 12345, 5, 10, 13080001
1002, シヤメイ001, サカイテン, 12346, 5, 10, 13080001
1002, シヤメイ001, サカイテン, 12346, 5, 10, 13080001
1002, シヤメイ001, サカイテン, 12346, 5, 10, 13080001
1003, シヤメイ001, マルガメテン, 12347, 5, 10, 13080001

先頭に項目名の行があるデータは[先頭読み飛ばし行数(S)]を項目名の行数にします。(1 行の場合は 1 を入力します。)

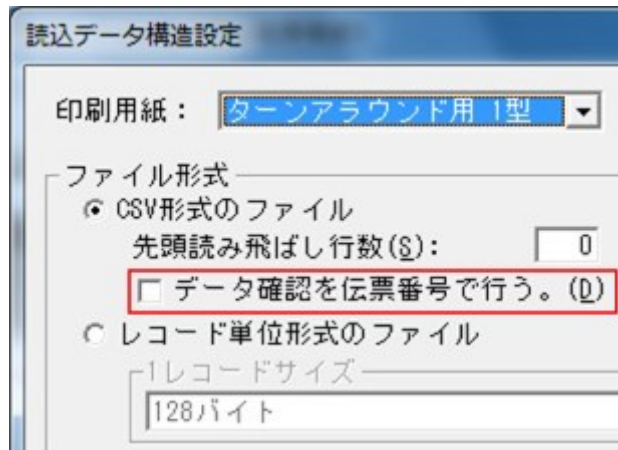
2-3-3. データ形式の選択。

データ形式

☒ ヘッダー、明細部は同一行 ☐ ヘッダー、明細部は別の行

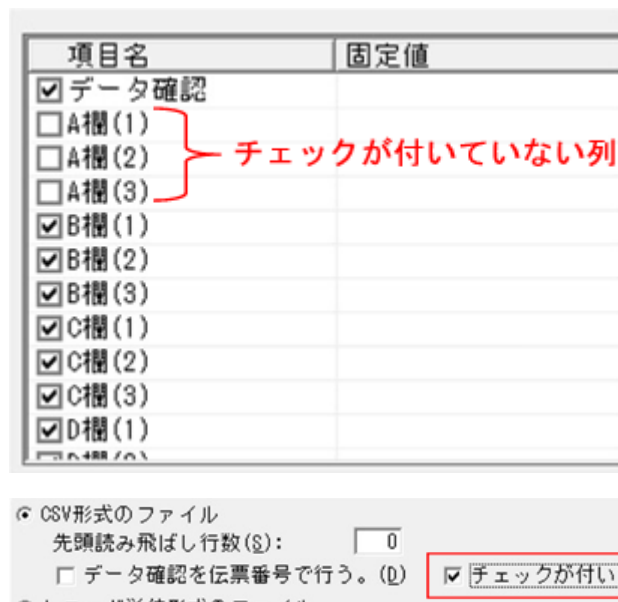
伝票のヘッダー(社名、伝票番号など)情報と明細(商品、数量など)情報が 1 行に含まれている場合は、[ヘッダー、明細部は同一行]を選びます。伝票のヘッダー部と明細部が別の行で構成されているデータは[ヘッダー、明細部は別の行]を選びます。

2-3-4. データ確認の指定。データ形式が[ヘッダー、明細部は同一行]の場合は、データ確認を項目名「データ確認」(先頭列固定)か[伝票番号]のどちらで行うかを指定します。



データ確認を先頭例の「データ確認」で行う場合はチェックを外します。
データ確認を「伝票番号」で行う場合はチェックを付けます。

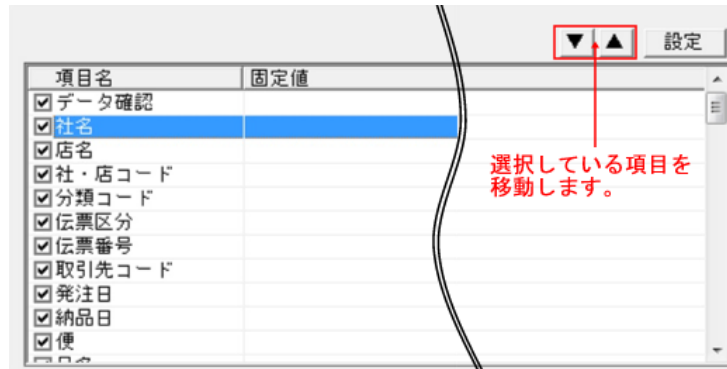
2-3-5. データ項目の列指定。



項目名	固定値
<input checked="" type="checkbox"/> データ確認	
<input type="checkbox"/> A欄(1)	
<input type="checkbox"/> A欄(2)	
<input type="checkbox"/> A欄(3)	
<input checked="" type="checkbox"/> B欄(1)	
<input checked="" type="checkbox"/> B欄(2)	
<input checked="" type="checkbox"/> B欄(3)	
<input checked="" type="checkbox"/> C欄(1)	
<input checked="" type="checkbox"/> C欄(2)	
<input checked="" type="checkbox"/> C欄(3)	
<input checked="" type="checkbox"/> D欄(1)	

チェックが付いていない項目もダミー列として存在する場合は、[チェックが付いていない列も考慮する] にチェックを付けます。
チェックが付いていない項目は列として存在しない場合は、[チェックが付いていない列も考慮する]のチェックを外します。

2-3-6. 各項目データの設定。



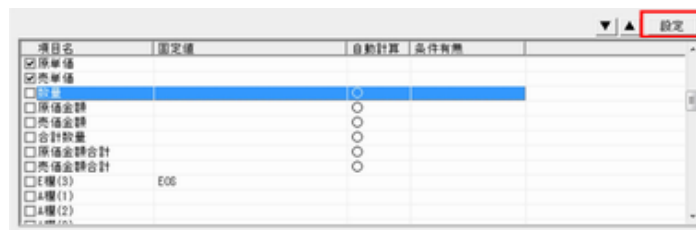
項目名リストの1行名が、CSV ファイルでの先頭列に対応します。
項目名を実際の CSV データ列と同じように移動します。

2-3-7. CSV データに存在しない項目の設定。

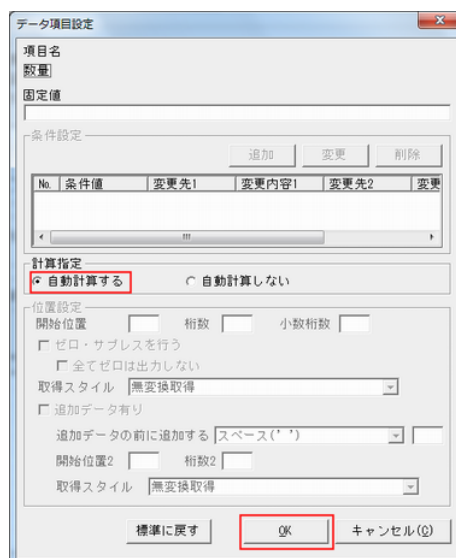
(ア) 自動計算の設定。

「数量、原価金額、売価金額 など」のデータが「元の CSV ファイル」に存在しない場合は、自動計算の設定を行います。

[項目名]リストの中から設定を行う項目を選択します。



<設定> ボタンをクリックします。



[計算指定]は、「自動計算する」を選びます。

<OK>をクリックします。



(イ) E 欄(3)に“EOS”の文字を設定する場合。

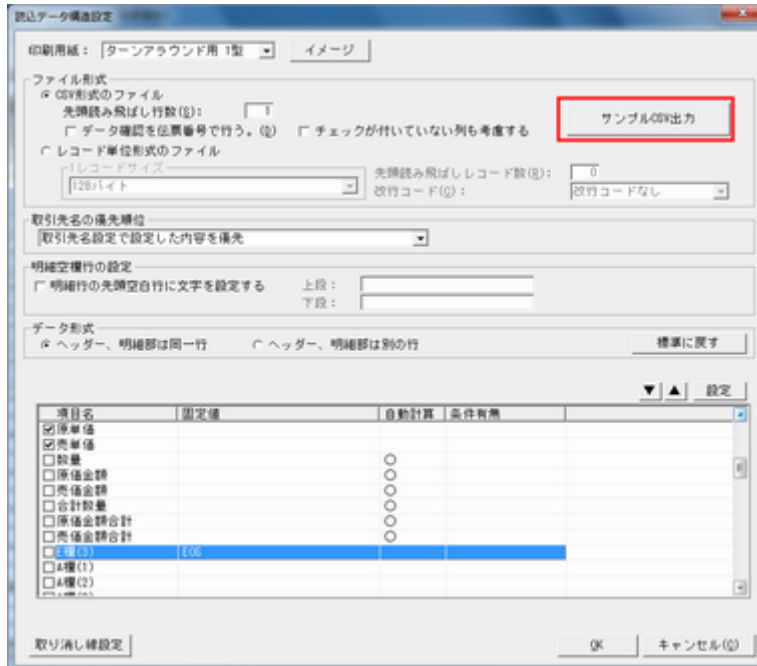
[項目名]リストの中から「E 欄(3)」を選択します。

<設定> ボタンをクリックします。

[固定値]に”EOS”を入力します。

<OK>をクリックします。

2-3-8. 確認用の CSV データファイルを作成します。



印刷用紙: ターンアラウンド用 1型 イメージ

ファイル形式
☒ CSV形式のファイル
 先頭読み飛ばし行数 (R):
☐ データ確認を位置番号で行う。(R) ☐ チェックが付いていない列も考慮する
☐ レコード単位形式のファイル
 レコードサイズ: 先頭読み飛ばしレコード数 (R):
 改行コード (R):

取引先名の優先順位

明細空欄の設定
☐ 明細行の先頭空自行に文字を設定する 上段: 下段:

データ形式
☒ ヘッダー、明細部は同一行 ☐ ヘッダー、明細部は別行 標準に戻す

項目名	固定値	自動計算	条件有無
<input checked="" type="checkbox"/> 原単価			
<input checked="" type="checkbox"/> 売単価			
<input type="checkbox"/> 数量		<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 原価金額		<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 売価金額		<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 合計数量		<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 原価金額合計		<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 売価金額合計		<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 売上 (R)	[00]		
<input type="checkbox"/> A欄 (1)			
<input type="checkbox"/> A欄 (2)			

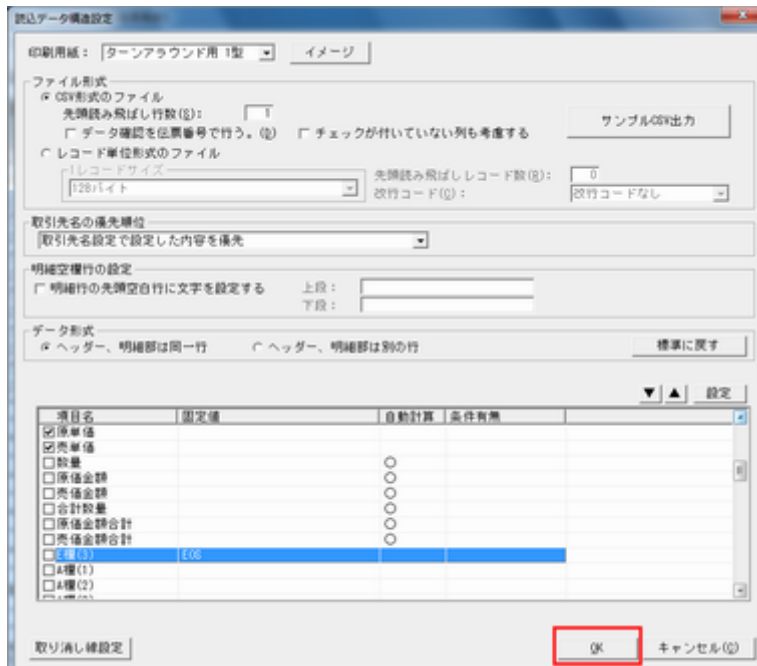
取り消し 確定

OK キャンセル (R)

＜サンプル出力＞ボタンをクリックして、デスクトップに CSV 形式のサンプルデータファイルを作成します。

作成されたサンプルとデータの送信元が発行する資料を確認します。違いがある場合は、修正して再度確認を行います。

2-3-9. [設定内容]を確認します。



印刷用紙: ターンアラウンド用 1型 イメージ

ファイル形式
☒ CSV形式のファイル
 先頭読み飛ばし行数 (R):
☐ データ確認を位置番号で行う。(R) ☐ チェックが付いていない列も考慮する
☐ レコード単位形式のファイル
 レコードサイズ: 先頭読み飛ばしレコード数 (R):
 改行コード (R):

取引先名の優先順位

明細空欄の設定
☐ 明細行の先頭空自行に文字を設定する 上段: 下段:

データ形式
☒ ヘッダー、明細部は同一行 ☐ ヘッダー、明細部は別行 標準に戻す

項目名	固定値	自動計算	条件有無
<input checked="" type="checkbox"/> 原単価			
<input checked="" type="checkbox"/> 売単価			
<input type="checkbox"/> 数量		<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 原価金額		<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 売価金額		<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 合計数量		<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 原価金額合計		<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 売価金額合計		<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 売上 (R)	[00]		
<input type="checkbox"/> A欄 (1)			
<input type="checkbox"/> A欄 (2)			

取り消し 確定

OK キャンセル (R)

＜OK＞ボタンをクリックします。



2 - 4. レコード単位形式のファイル設定

レコード単位形式のファイルは、CSV 形式のファイルとは大きく異なります。主にスーパーマーケットなどが行っている EOS システムのデータを読み込めるように設定するのが目的になります。

データの送信元が発行する資料を確認してサンプルデータをご自身で作成できる技術がある方は、商品のヘルプを参考にして設定を行うことは可能と思われます。

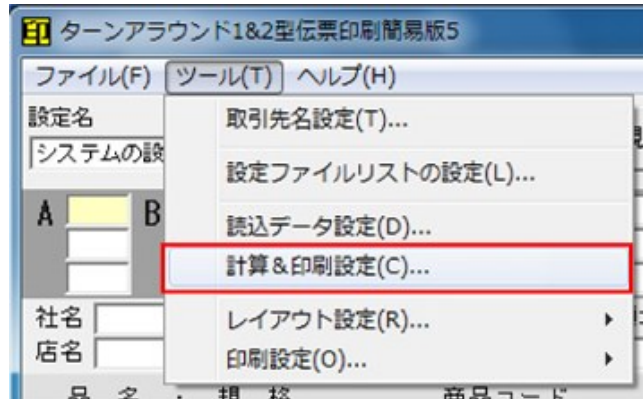
弊社では別途有料サポートでデータレイアウトファイルを作成します。

問い合わせ先：nsd@nsgd.co.jp

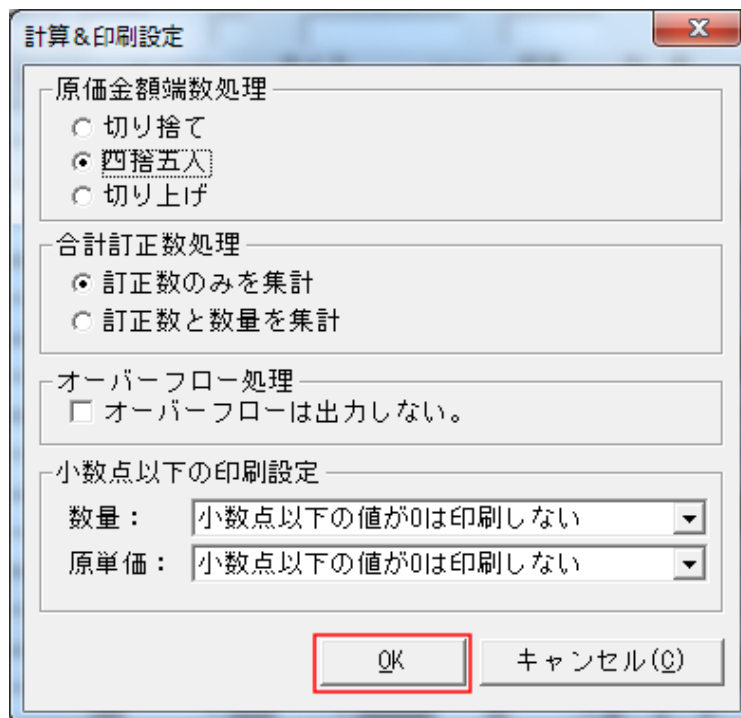


2 - 5. 計算と印刷詳細設定

2 - 5 - 1. メニュー-[ツール(T)]-[計算&印刷詳細設定(C)]を選びます。



[計算&印刷設定]を開きます。



(ア) [原価金額端数処理]を指定します。

「切り捨て、四捨五入、切り上げ」の中から選びます。

(イ) [合計訂正数処理]を指定します。

訂正数のみを集計	訂正数合計欄には訂正された数量の合計のみが集計されます。
訂正数と数量を集計	訂正数合計欄には訂正がある場合は訂正数、訂正がない場合は数量を集計します。

訂正が存在しない場合は、関係ありません。



(ウ) [オーバーフロー処理]

計算結果がオーバーフローした場合の処理を指定します。

オーバーフローした場合、出力しないようにする場合はチェックを付けます。

※扱うデータでオーバーフローが起きない場合は、関係ありません。

(エ) [小数点以下の印刷設定]

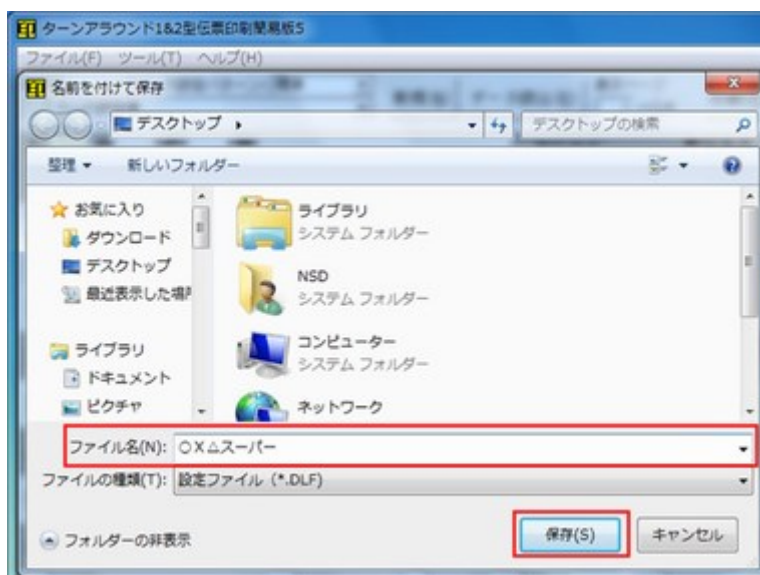
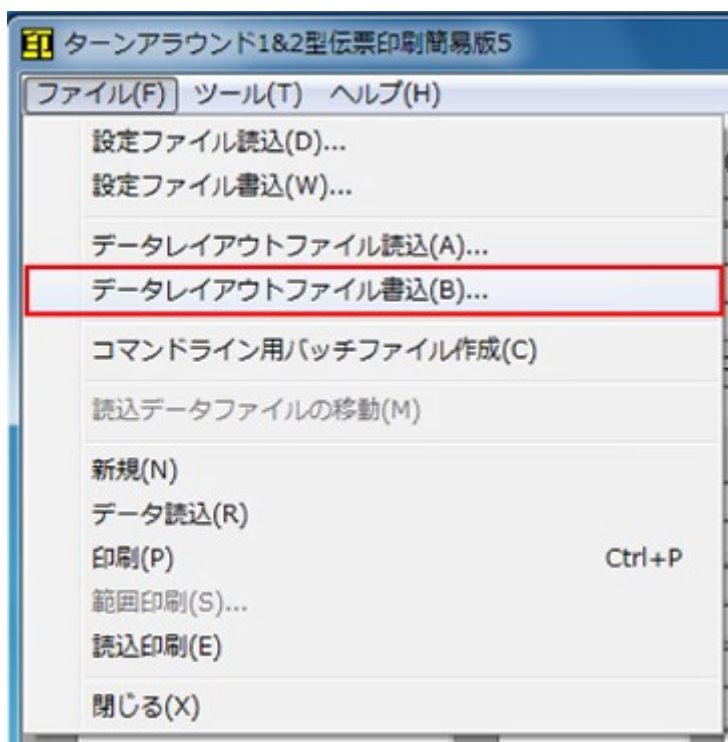
「数量、原単価」で少数点以下が 0 になる場合に印刷するかしないかを設定します。

<OK> ボタンをクリックします。



2 - 6. データレイアウトファイルの作成

メニュー-[ファイル(F)]-[データレイアウトファイル書込(B)]を選びます。



[ファイル名]を入力します。

<保存(S)>をクリックしてデータレイアウトファイル(*.DLF)を作成します。

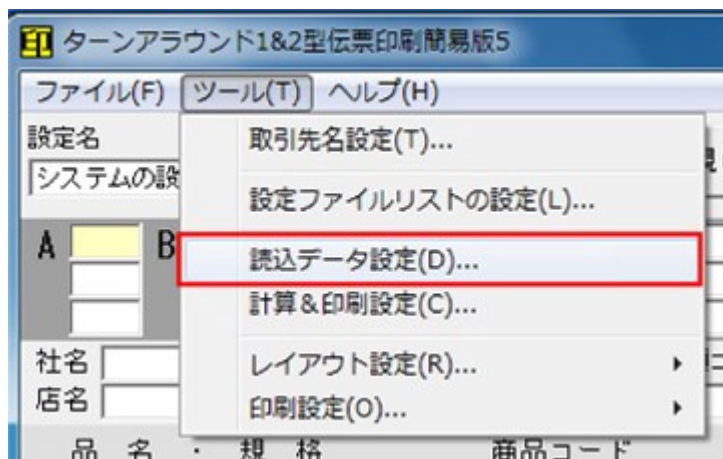
3. 設定ファイルの作成



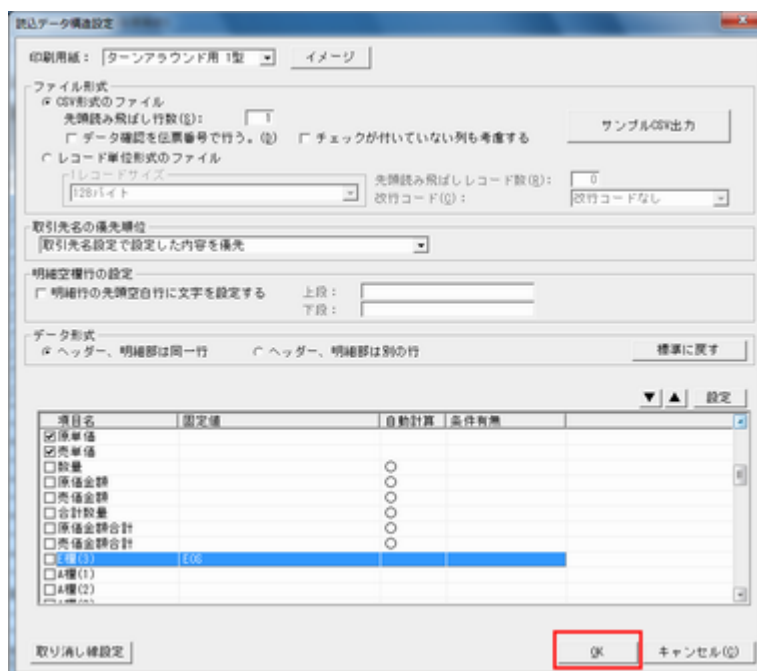
設定ファイルの作成

3-1. 読込データ構造を確認します。

メニュー-[ツール(T)]-[読込データ設定(D)]を選びます。



[読込データ構造設定]が開きます。



読込データの設定を確認します。

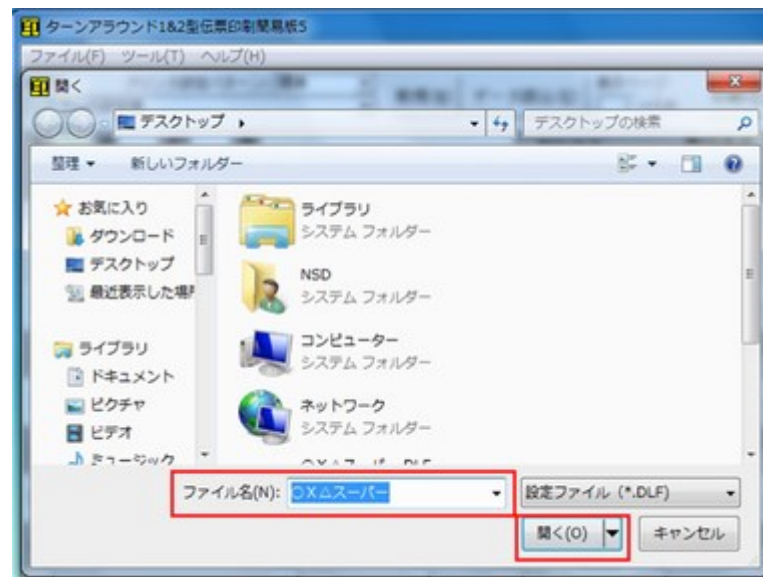
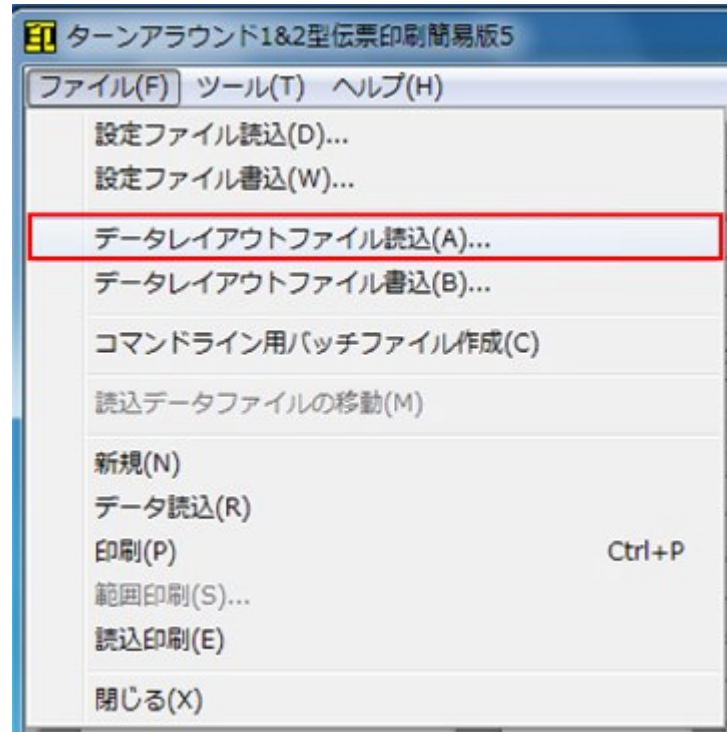
<OK>をクリックします。

読込データの構造が違っている場合は、再度設定をおこなうか保存しているデータレイアウトファイルを読み込みます。



データレイアウトファイルの読み込み方。

メニュー-[ファイル(F)]-[データレイアウトファイル読込(A)]を選びます。



ファイルを選択します。

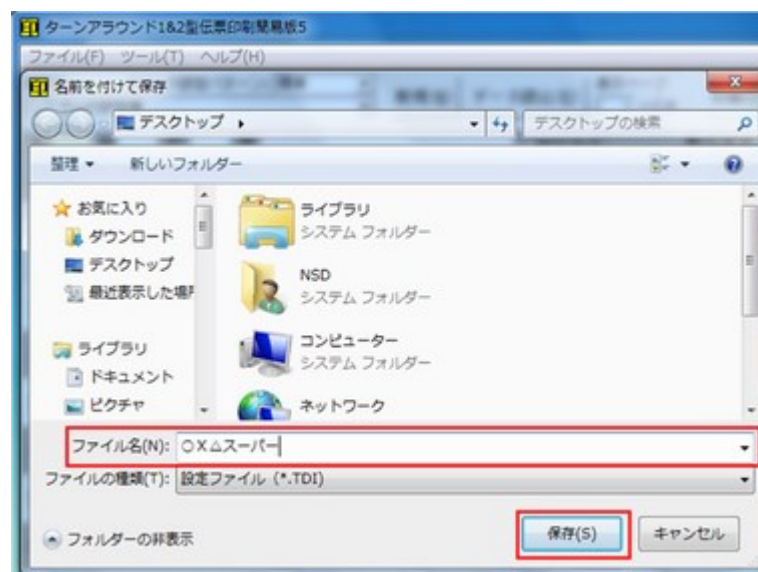
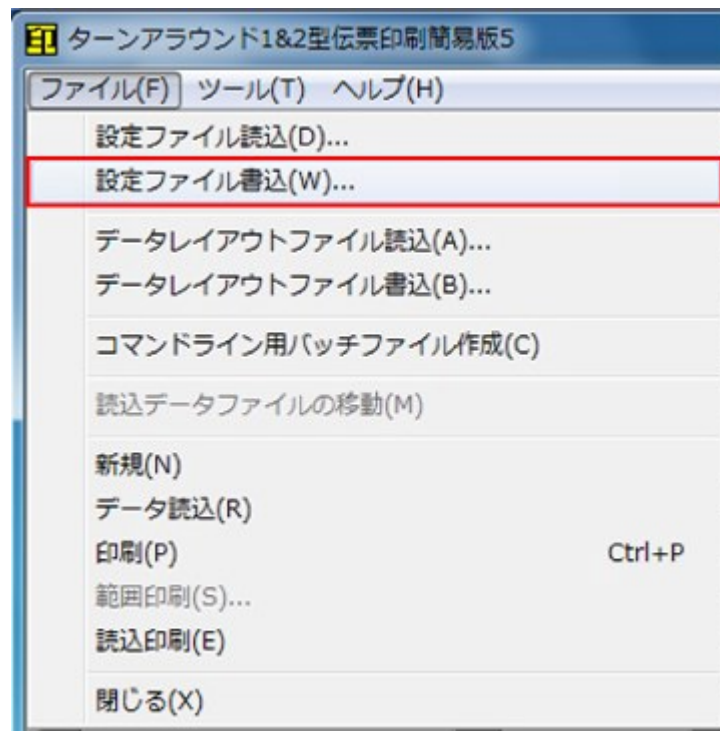
<開く(O)>をクリックしてデータレイアウトファイル(*.DLF)を読み込みます。

再度、[読込データ構造設定]を開き確認します。(1.の最初を参照。)

3 - 2. 設定ファイルを作成します。



メニュー-[ファイル(F)]-[設定ファイル書込(W)]を選びます。



[ファイル名]を入力します。

<保存(S)>を設定ファイル (*.TDI)を作成します。

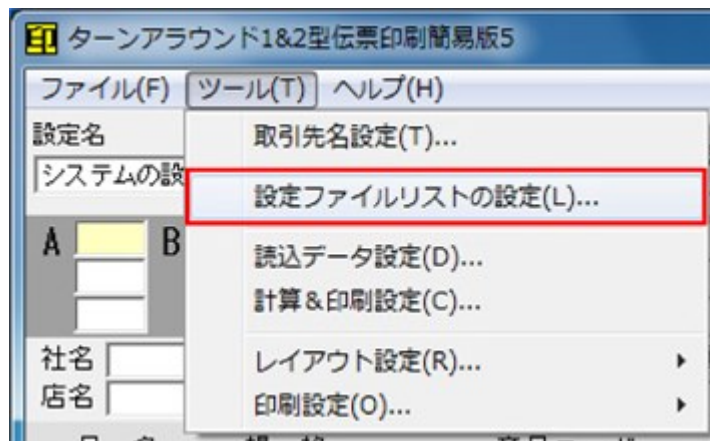
4. 設定ファイルの管理



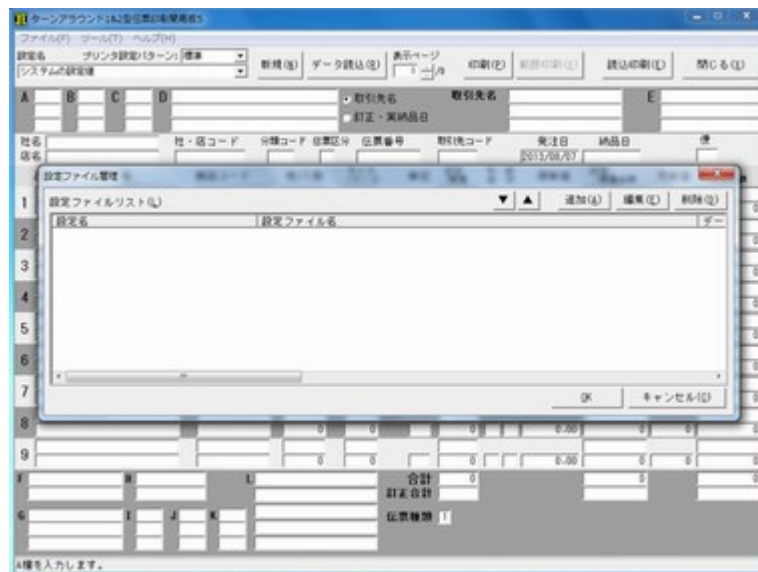
設定ファイルの登録

4-1. [設定ファイル管理]を開きます。

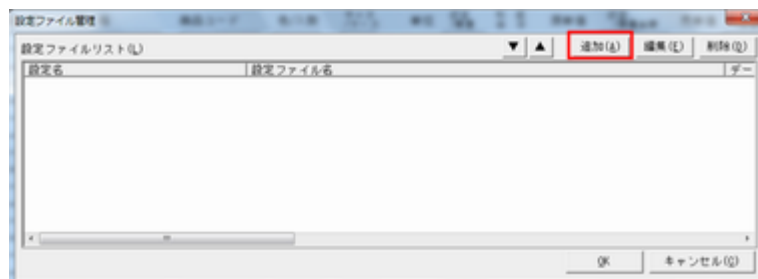
メニュー-[ツール(T)]-[設定ファイルリストの設定(L)]を選びます。



[設定ファイル管理]が開きます。

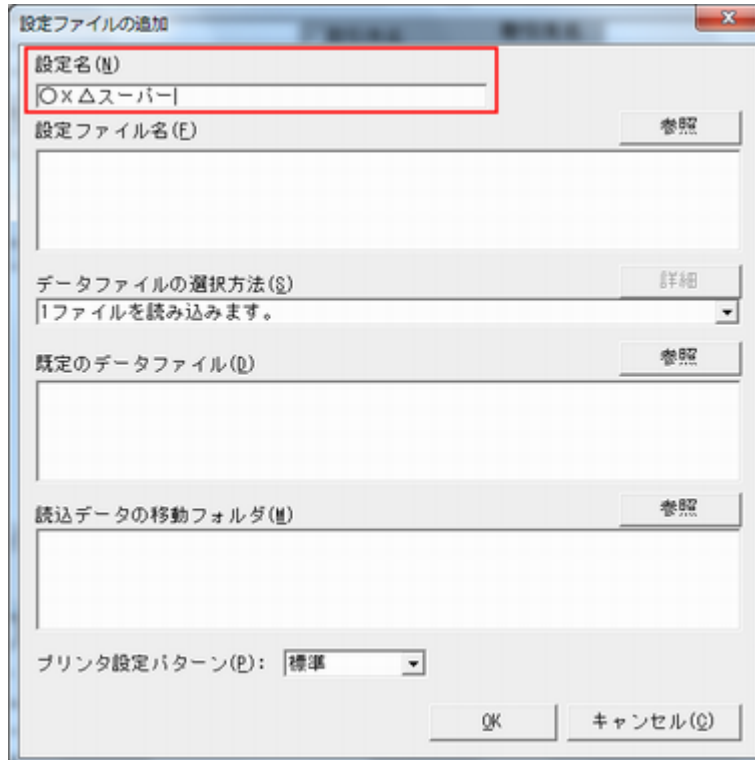


4-2. 設定ファイルを追加します。



[設定ファイル管理]の<追加>をクリックします。

4-3. 設定ファイルの必要項目を入力します。



設定ファイルの追加

設定名(N)
〇×△スーパー

設定ファイル名(F)
参照

データファイルの選択方法(S)
1 ファイルを読み込みます。 詳細

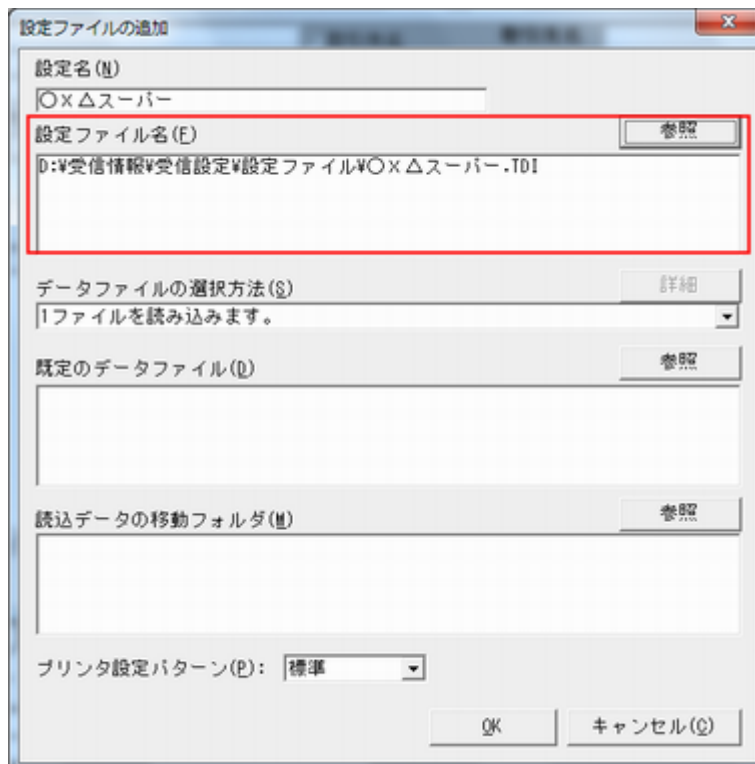
既定のデータファイル(D)
参照

読込データの移動フォルダ(M)
参照

プリンタ設定パターン(P): 標準

OK キャンセル(C)

[設定名(N)]を入力します。



設定ファイルの追加

設定名(N)
〇×△スーパー

設定ファイル名(F)
D:\受信情報\受信設定\設定ファイル\〇×△スーパー.TD1 参照

データファイルの選択方法(S)
1 ファイルを読み込みます。 詳細

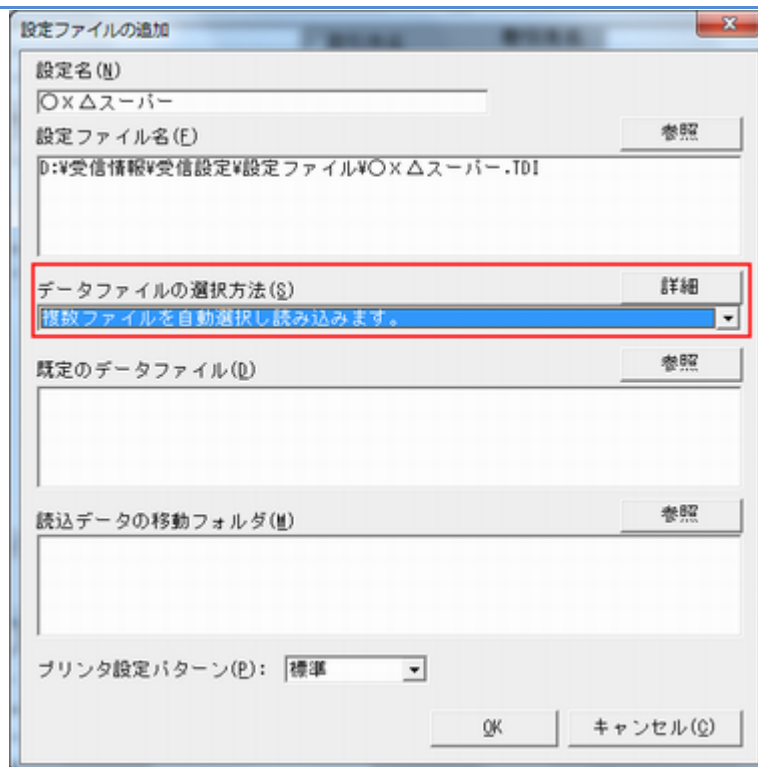
既定のデータファイル(D)
参照

読込データの移動フォルダ(M)
参照

プリンタ設定パターン(P): 標準

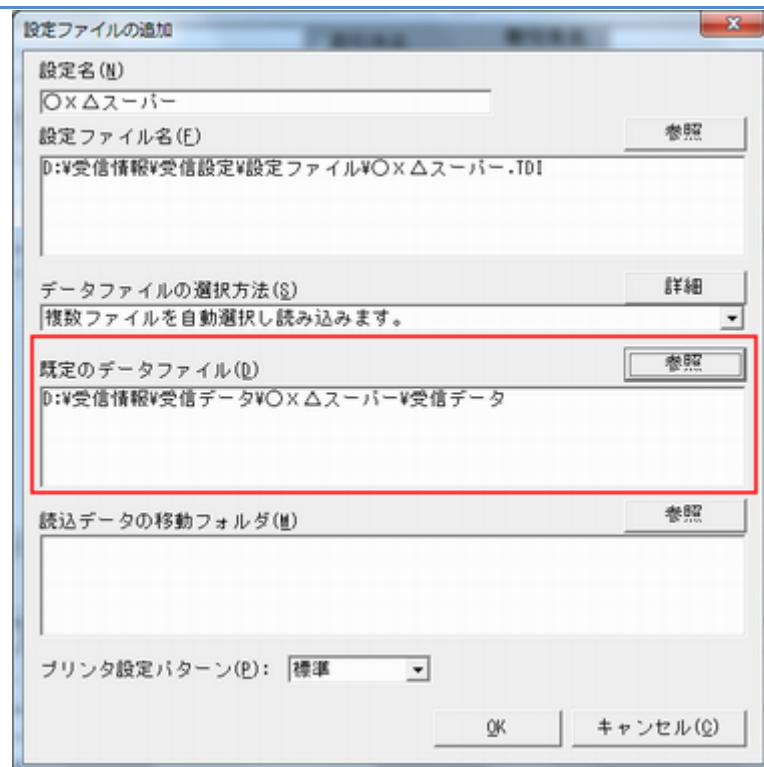
OK キャンセル(C)

[設定ファイル名(F)]に、作成済みの設定ファイルを入力します。
※＜参照＞ボタンでファイルを選択します。



[データファイルの選択方法(S)]を指定します。

[1 ファイルを読み込みます。]	1 つのデータファイルを選択し読み込みます。 ※受信したデータのフルパス名が毎回同じときに使用します。
[複数ファイルを選択し読み込みます。]	複数のデータファイルを選択し読み込みます。 ※指定フォルダに受信したデータが保存される場合に使用します。
[複数ファイルを自動選択し読み込みます。]	<詳細>ボタンをクリックして指定した条件に従ってファイルを自動選択し、読み込みます。



設定ファイルの追加

設定名(N)
〇×△スーパー

設定ファイル名(F)
D:\受信情報\受信設定\設定ファイル\〇×△スーパー.T01

データファイルの選択方法(S)
複数ファイルを自動選択し読み込みます。

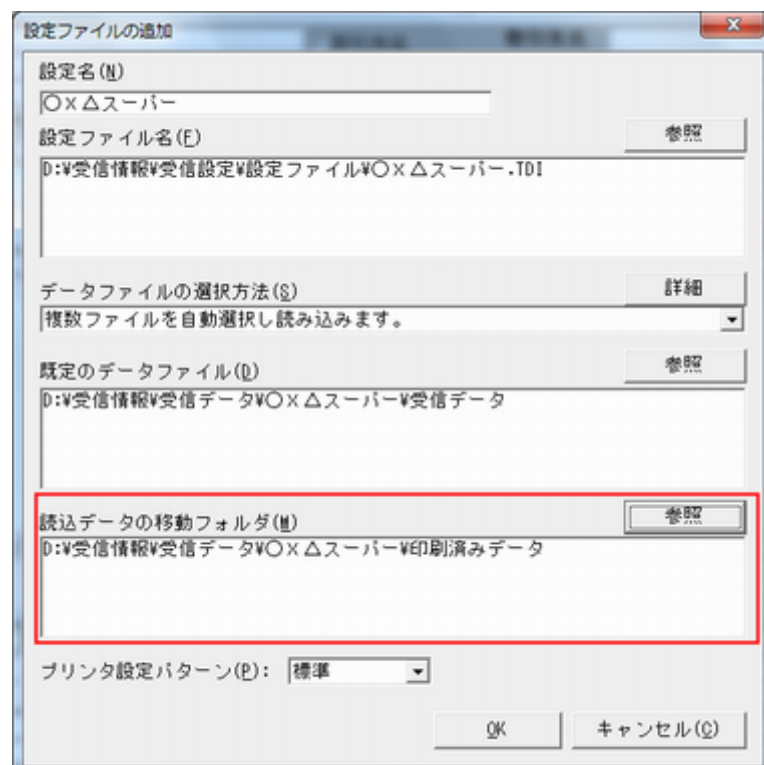
既定のデータファイル(D)
D:\受信情報\受信データ\〇×△スーパー\受信データ

読込データの移動フォルダ(M)
参照

プリンタ設定パターン(P): 標準

OK キャンセル(Q)

[既定のデータファイル(D)]にファイル名またはフォルダ名を入力します。



設定ファイルの追加

設定名(N)
〇×△スーパー

設定ファイル名(F)
D:\受信情報\受信設定\設定ファイル\〇×△スーパー.T01

データファイルの選択方法(S)
複数ファイルを自動選択し読み込みます。

既定のデータファイル(D)
D:\受信情報\受信データ\〇×△スーパー\受信データ

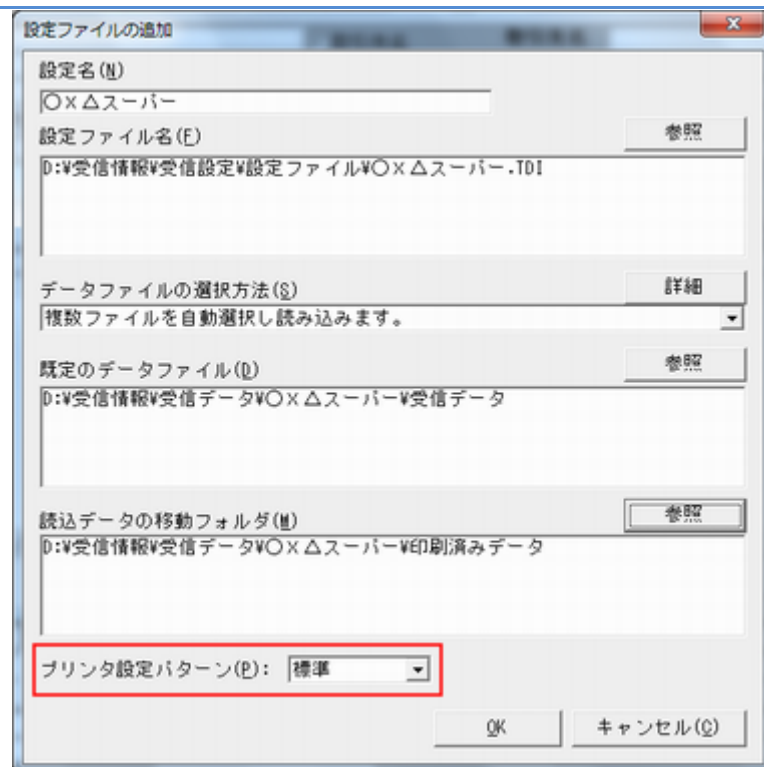
読込データの移動フォルダ(M)
D:\受信情報\受信データ\〇×△スーパー\印刷済みデータ

プリンタ設定パターン(P): 標準

OK キャンセル(Q)

[読込データの移動フォルダ(M)]を入力します。

※＜参照＞ボタンでフォルダを選択します。



設定ファイルの追加

設定名(N)
○×△スーパー

設定ファイル名(F)
D:\受信情報\受信設定\設定ファイル\○×△スーパー.T01

データファイルの選択方法(S)
複数ファイルを自動選択し読み込みます。

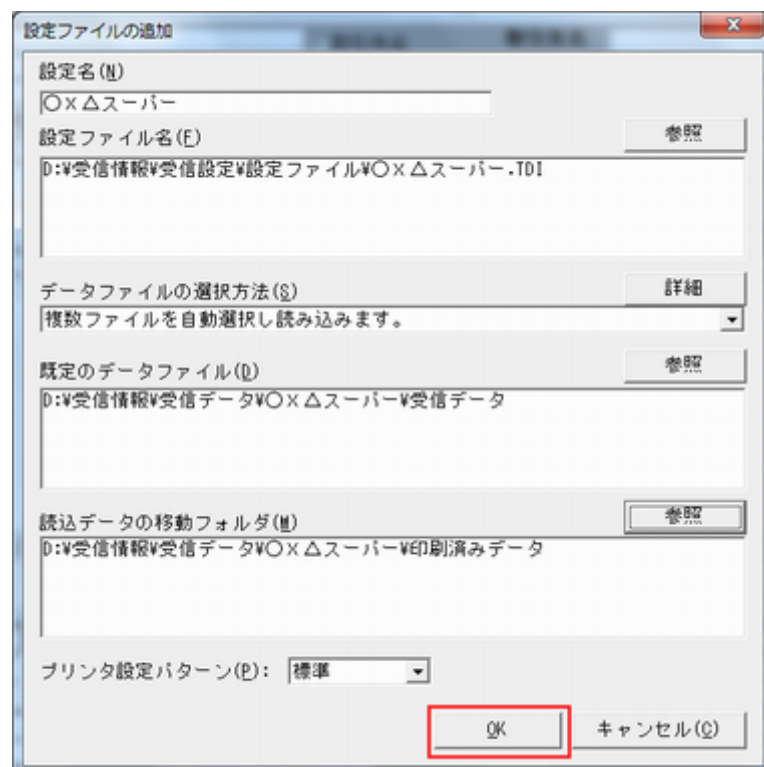
既定のデータファイル(D)
D:\受信情報\受信データ\○×△スーパー\受信データ

読込データの移動フォルダ(M)
D:\受信情報\受信データ\○×△スーパー\印刷済みデータ

プリンタ設定パターン(P): 標準

OK キャンセル(Q)

[プリンタ設定パターン]を選びます。



設定ファイルの追加

設定名(N)
○×△スーパー

設定ファイル名(F)
D:\受信情報\受信設定\設定ファイル\○×△スーパー.T01

データファイルの選択方法(S)
複数ファイルを自動選択し読み込みます。

既定のデータファイル(D)
D:\受信情報\受信データ\○×△スーパー\受信データ

読込データの移動フォルダ(M)
D:\受信情報\受信データ\○×△スーパー\印刷済みデータ

プリンタ設定パターン(P): 標準

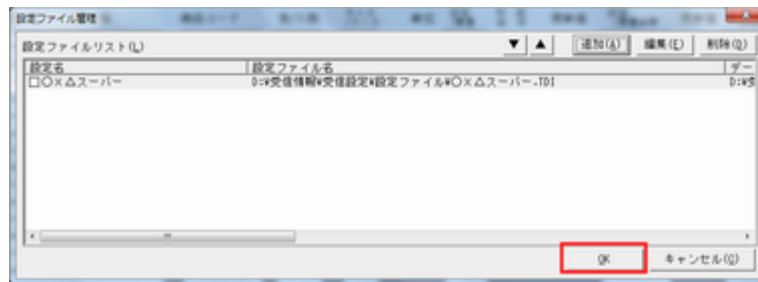
OK キャンセル(Q)

<OK>をクリックします。



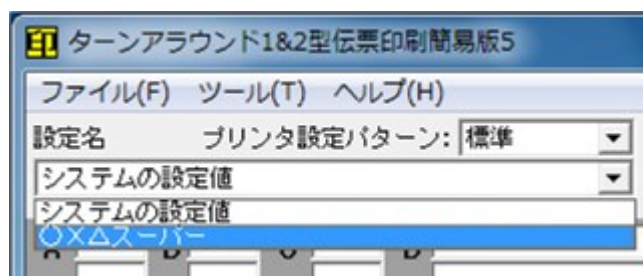
4 - 4. [設定ファイルリスト(L)]に追加されます。

追加した設定を確定します。



<OK>をクリックします。

4 - 5. メイン画面の[設定名]に追加されているのを確認します。



メイン画面の[設定名]に追加されます。

5. 日々の作業



5-1. 受信データの印刷

取引先からのデータ受信は通信プログラムなどで行います。

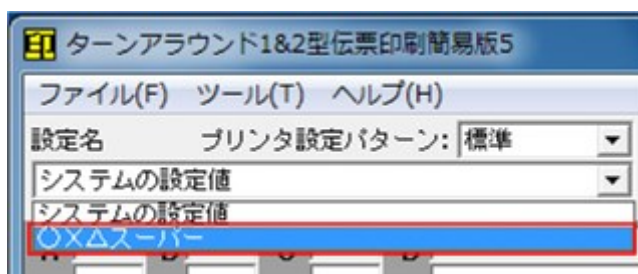
※受信の処理は本プログラムには含まれていません。

例：「〇×△スーパー」で説明します。

5-1-1. 「〇×△スーパー」のデータ受信後、プログラムを起動します。

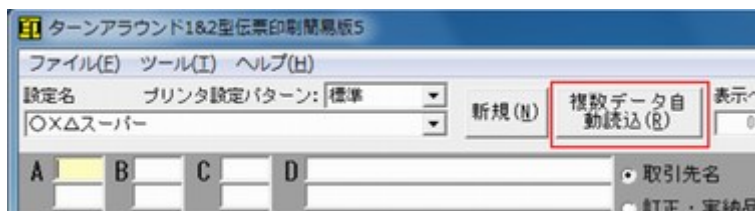


5-1-2. [設定名]のコンボボックスにある「〇×△スーパー」を選びます。



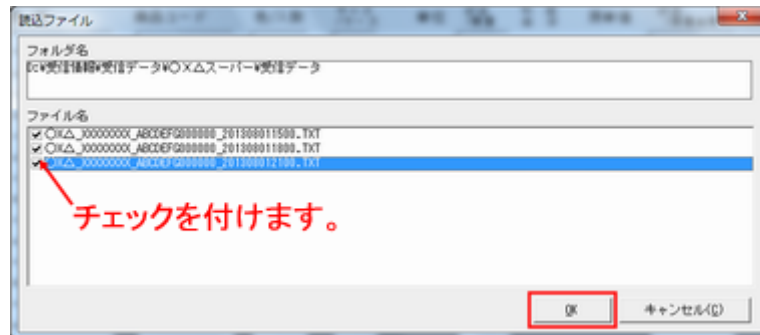
※[設定名]に表示されない場合は、「設定ファイルの管理」を参照して先に設定を行います。

5-1-3. <複数データ自動読込(R)>をクリックします。





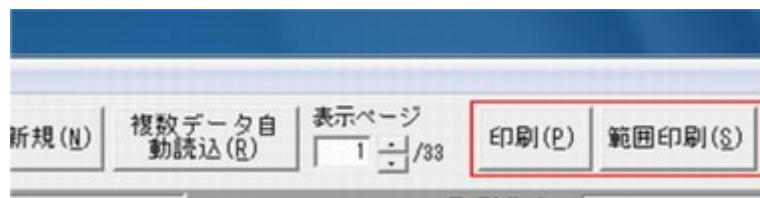
5-1-4. 対象ファイルが存在する場合、ファイルリストが表示されます。



読み込むファイルにチェックを付けて<OK>をクリックします。

5-1-5. 読み込みデータを印刷します。

プリンターに伝票用紙をセットします。



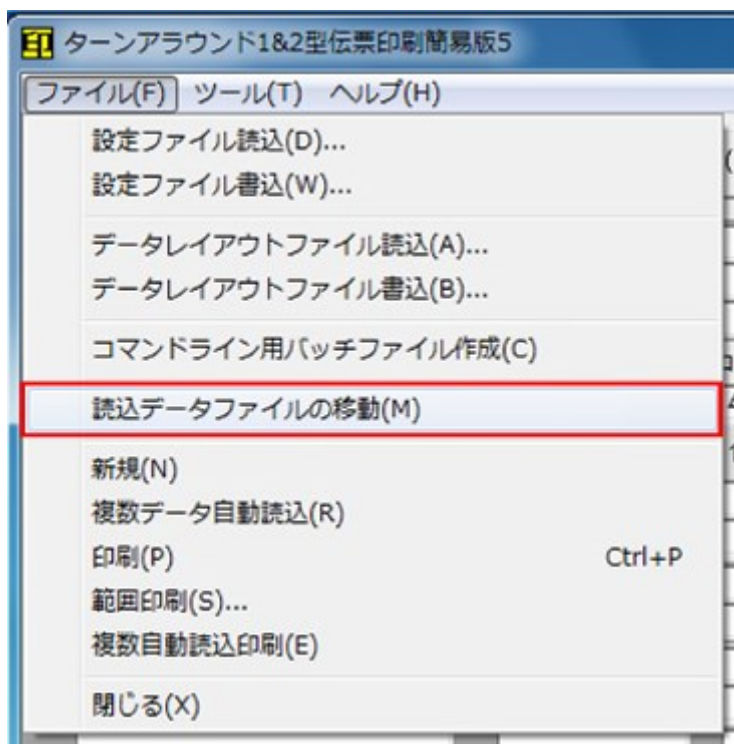
<範囲印刷(S)>または<印刷(P)>をクリックして必要な伝票を印刷します。



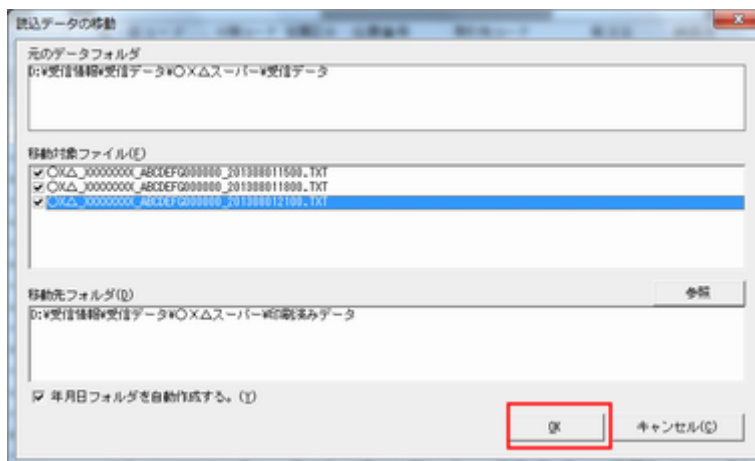
5 - 2. 印刷後のファイル移動

同じ伝票を印刷しないように、印刷済みのデータを移動します。

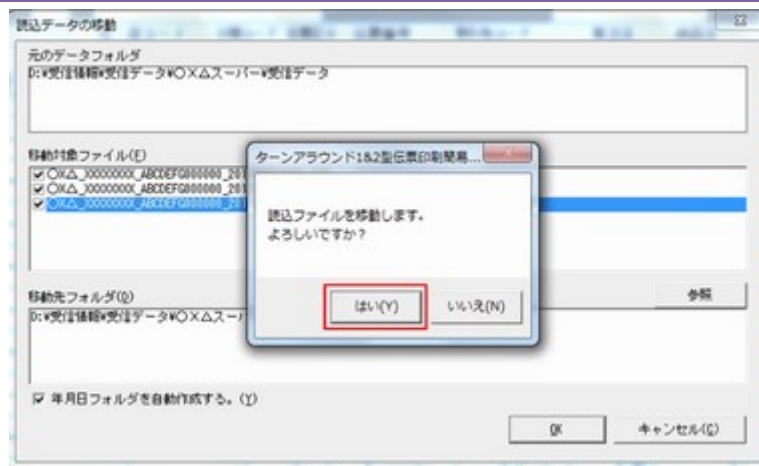
5 - 1. メニュー-[ファイル(F)]-[読込データファイルの移動(M)]を選びます。



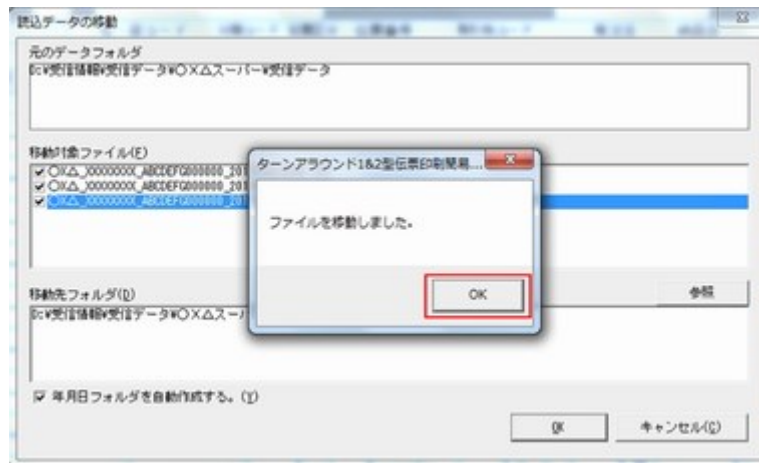
5 - 2. [読込データ移動]が開きます。



移動対象ファイルを確認してから<OK>をクリックします。



「読込ファイルを移動します。よろしいですか?」のメッセージボックスが表示されます。＜はい(Y)＞をクリックします。



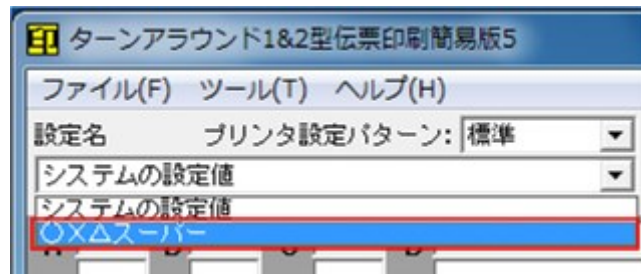
ファイル移動の処理終了メッセージボックスが表示されます。＜OK＞をクリックします。



5 - 3. 移動したファイルの印刷

同じ伝票を印刷しないように、印刷済みのデータを移動します。

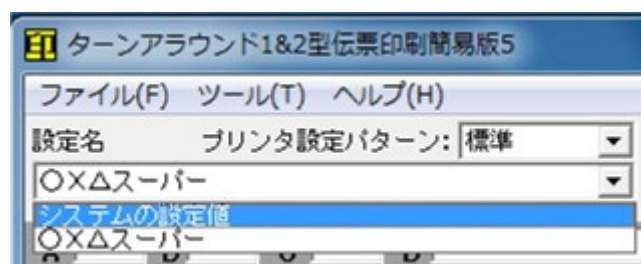
5 - 3 - 1. 設定を読み込みます。



[設定名]のコンボボックスにある「〇×△スーパー」を選びます。



5 - 3 - 2. 設定を「システムの設定値」に切り替えます。



[設定名]のコンボボックスにある「システムの設定値」を選びます。

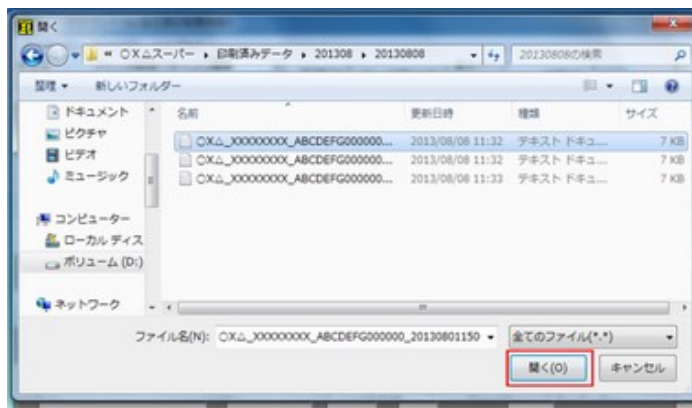


5-3-3. データを読み込みます。



＜データ読込(R)＞をクリックします。

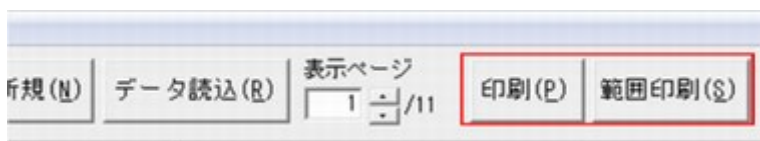
5-3-4. 読み込むファイルを選びます。



読み込みファイルを選択して<開く(O)>をクリックします。

5-3-5. 読み込みデータを印刷します。

プリンターに伝票用紙をセットします。



＜範囲印刷(S)＞または＜印刷(P)＞をクリックして必要な伝票を印刷します。

6. 登録商標または商標

この文章に記載されている会社名、商品名は各社の登録商標または商標です。